

姫路市公共施設等総合管理計画（案）

〔令和8年度～令和17年度〕

概要版

将来にわたり持続可能な公共サービスを提供できるよう、時代に即した公共施設等の最適化を図ります

計画対象施設

公共建築物



公用施設

庁舎、消防署等

公共用施設

学校、市営住宅等

社会基盤施設



道路 橋りょう 河川

漁港 公園

駐車場・駐輪場

水道施設 下水道施設

公共施設等の現状及び将来見通し

人口

人口減少と少子高齢化の同時進行により、今後は人口減少の動向を見据えながら、公共施設等の将来のあり方について検討が必要

行財政運営

市税収入等の歳入の減少や社会保障費等の歳出の増加による財政の硬直化により、今後は施設の必要性等を精査し、計画的かつ効率的な老朽化対策の実施が必要

公共建築物

令和7年4月現在の保有施設は、**806施設・総床面積約183万m²**

そのうち、整備後30年を経過した床面積が全体の**約80%**

今後同時期に改修・更新時期を迎えるため、現状の投資水準から**さらに約58億円が必要**

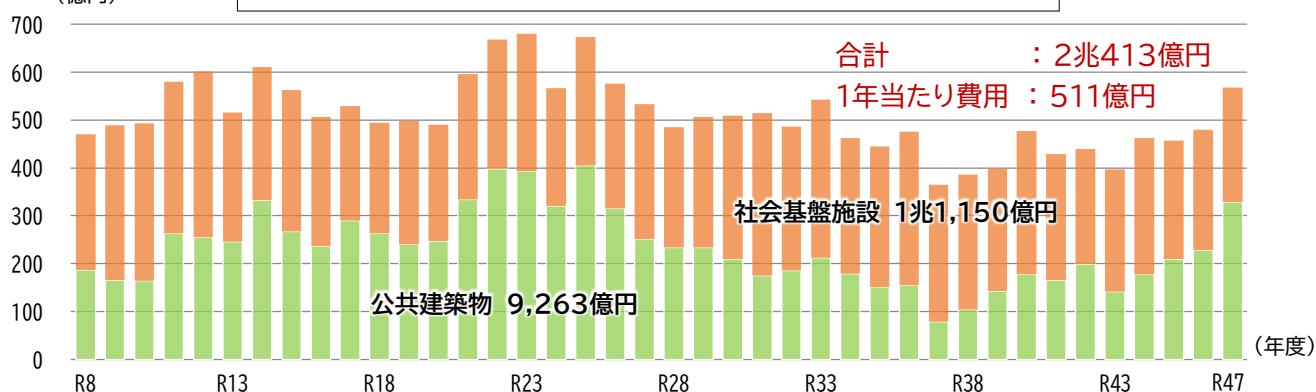
社会基盤施設

社会基盤施設は市民生活に直結する施設であるため、必要な整備水準の確保や老朽化が進んでいる箇所の更新等、計画的かつ継続的な取組みが必要

今後の改修・更新費用は、現状の投資水準から**さらに約30億円が必要**

(億円)

年度別改修・更新費用の推計 令和8年度～令和47年度(40年間)



公共施設等の目指す姿

公共建築物 創造と交流を生む施設

床面積総量の削減は喫緊の課題です。

一方で、まちづくりの拠点となる施設については、施設の改修・更新時期を新たな価値・サービスを生み出す好機と捉え、必要な機能を抽出し、地域特性に応じて再編することが重要です。

また、多様な主体が集い、つながりを感じられる空間づくりが求められています。

▶ 従来の枠組みに縛られない新たな価値・サービスを生み出すとともに、市民や地域コミュニティ、企業・団体等、多様な主体が集い、交流・活動している場を目指します



社会基盤施設 市民の安全・安心な暮らしを支える施設

将来にわたって、市民生活や経済活動を安定的に維持するために必要不可欠な施設です。

▶ 市民の誰もが、安全で安心して、快適に暮らせる社会を支える施設づくりを目指します

公共施設等の目標

公共建築物

40年間(R8~47年度) …総床面積の**30%**(約54万9千m²)以上を削減

・アクリエひめじ (約29,000m²) の約**19倍**
・平均的な戸建住宅 (約116m²) の約**4,730倍**

10年間(R8~17年度) …総床面積の**7.5%**(約13万7千m²)以上を削減

・アクリエひめじ (約29,000m²) の約**5倍**
・平均的な戸建住宅 (約116m²) の約**1,180倍**

社会基盤施設

施設種別ごとの計画により具体的目標を設定

管理に関する基本方針

公 共 建 築 物

方針 1 次世代の負担軽減

取組の方策

- ▶ 公共建築物のストック量の最適化
- ▶ ライフサイクルコストの縮減
- ▶ 事業の事前チェックの強化

方針 2 安全安心な公共建築物の維持管理

取組の方策

- ▶ 管理運営の最適化
- ▶ 個別施設計画に基づく計画的維持管理

方針 3 社会環境の変化に応じた公共サービスの向上

取組の方策

- ▶ 施設の活性化と利便性の向上
- ▶ 民間活力の活用

【施設類型ごとの考え方】

施設の現況整理

- 施設情報の見える化の観点から、各施設の情報を用いて現況を整理
- ▶ 基本方針 1 から 3 に沿って、ライフサイクルコスト、費用対効果、他都市との比較、借地の有無、老朽度、利用等増減傾向について、施設情報を A から E の 5 段階で判定
- ※ 多種多様な施設情報を一律の基準により整理しているため、現況整理の結果は絶対的なものではなく、また、今回の現況整理の結果が施設の統廃合等の方針に直接結びつくものではありません



今後の方向性

- 現況整理の結果を踏まえつつ、施設の特性や地域の状況等の定性的な要素を総合的に勘案しながら、今後の方向性を検討
- ▶ 全施設の今後の方向性を計画に記載



再編実行計画

- 今後の方向性を踏まえ、廃止、集約化、複合化、転用等のあり方検討が必要な施設を対象として再編実行計画（今後の施設の具体的な方針について示す計画）を策定
- ▶ 96施設の再編実行計画を計画期間内に策定

社 会 基 盤 施 設

方針 1 持続可能な社会基盤施設の維持管理

取組の方策

- ▶ 事業費の平準化
- ▶ 整備財源の確保

方針 2 安全安心な社会基盤施設の整備

取組の方策

- ▶ 耐震化の実施
- ▶ 老朽化対策の実施

方針 3 次世代の負担軽減

取組の方策

- ▶ ライフサイクルコストの縮減
- ▶ 管理運営の最適化

公共施設等の施設類型ごとの施設数等

(令和7年4月1日現在)

公共建築物

施設種別	施設数	延床面積	シェア	主な施設	削減目標
1 コミュニティ・スポーツ・レクリエーション系施設	165	207,273m ²	11.3%	公民館、市民会館・市民センター、ホール、スポーツ施設、地域資源活用施設等	10%以上
2 医療・福祉系施設	197	125,944m ²	6.9%	保健所・保健センター、就学前教育・保育施設、老人福祉センター、障害者福祉施設等	15%以上
3 産業振興施設	30	44,302m ²	2.4%	中央卸売市場、好古園、書写山観光施設等	7.5%以上
4 市営住宅等	71	403,005m ²	22.0%	市営住宅等	10%以上
5 教育系施設	148	899,429m ²	49.2%	小学校、中学校、高等学校、動物園、水族館、美術館、科学館、図書館等	10%以上
6 行政系施設	178	95,703m ²	5.2%	市役所本庁舎、出先事務所、消防署等	7.5%以上
7 斎場・靈苑施設	7	5,222m ²	0.3%	名古山斎場、名古山靈苑、姫路西靈苑等	7.5%以上
8 環境系施設	10	48,557m ²	2.7%	エコパークあばし、市川美化センター等	35%以上
合 計	806施設	1,829,435m ²			

社会基盤施設

施設種別		施設数	施設規模	施設種別		施設数	施設規模
1 道路・橋りょう	市道	10,843路線	2,521km	4 公園	都市公園等	996箇所	488.65ha
	林道	94路線	90km		類似施設	18箇所	23.68ha
	橋りょう	2,697橋	22km	5 駐車場・駐輪場	駐車場	6施設	48,073m ²
2 河川	準用河川	24本	34km		駐輪場	37施設	17,200m ²
	普通河川	588本	516km		浄水場	23施設	浄水能力 164,154m ³ /日
	ポンプ場・雨水貯留施設	49施設	ポンプ 98基		配水池	69箇所	
	工作物(樋門)	27箇所	—		管路延長	3,007km	—
3 漁港	外郭施設	36施設	3,258m	6 水道施設	処理場	29施設	処理能力 364,263m ³ /日
	係留施設	51施設	3,735m		ポンプ場	42施設	
	輸送施設	17施設	1,892m		管渠延長	3,193km	
	海岸保全施設	9施設	1,434m				—

姫路市 政策局 企画政策室 施設マネジメント課

〒670-8501 兵庫県姫路市安田四丁目1番地

TEL：079-221-2947 / FAX：079-221-2384

URL：<https://www.city.himeji.lg.jp/kurashi/0000031929.html>

